

32 ダテ(ヒラド)カワザンショウ (カワザンショウガイ科)

Assiminea bella

兵庫県ランク:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

東海地方から九州にかけて分布し、河口や淡水の影響する内湾奥部にある岩礫帯やヨシ帯に生息する。カワザンショウガイと混生する場合、高塩分・高潮側に生息することが多い。殻高8mm前後になり、縫合の陥入が浅く外観は直線的である。殻頂部はほとんど残っており、殻底縁には弱い角がある。殻色は黄色や橙色がかった黄色の地色に、濃色の色帯が明瞭なことが多いが、付着物で見えないことも多い。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	△			○

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、豊岡市

県内における生息状況及びその他特記事項

要注目(ダテカワザンショウ)・C(ヒラドカワザンショウ)からBに変更。播磨灘流入の河口にある干潟のヨシ帯から礫場に生息する。他のカワザンショウガイ類に比べて海寄りに生息数が多く、生息潮位も高い傾向にある。

保護上の留意点

河口干潟において、ヨシ帯、礫混じりの砂泥干潟、塩性湿地などいろいろな干潟要素の存在が他種を含めて必要である。



【執筆者】 増田修